



平成 27 年 9 月 18 日

各 位

東京都千代田区大手町 2 丁目 6 番 2 号日本ビル
会社名 日本スキー場開発株式会社
代表者の役職氏名 代表取締役社長 鈴木 周平
(コード番号：6040 東証マザーズ)
問合せ先 常務取締役 宇津井 高時
電話番号 03-6214-3340

資本準備金の額の減少及び剰余金の処分に関するお知らせ

当社は、平成 27 年 9 月 18 日開催の取締役会において、以下のとおり、平成 27 年 10 月 27 日に開催を予定している定時株主総会に、資本準備金の額の減少及び剰余金処分の件を付議することについて決議しましたので、お知らせいたします。

記

1. 資本準備金の額の減少及び剰余金の処分の目的

第10期事業年度末時点での繰越利益剰余金は938,158,096円の欠損が生じております。つきましては利益剰余金の欠損の填補を目的として、資本準備金の額の減少及び剰余金の処分を行いたいと存じます。なお、本件は、「純資産の部」内の資本準備金を減少させ、その他資本剰余金に振り替えるものであり、当社の純資産額に変動はなく、一株当たりの純資産額に変動は生じません。

2. 資本準備金の額の減少に関する事項

(1) 減少すべき資本準備金の額

資本準備金の額 1,656,156,400 円を 938,158,096 円減少し、717,998,304 円とします。

(2) 資本準備金の額の減少の要領

会社法第 448 条第 1 項の規定に基づき資本準備金の額の減少を上記のとおり行います。資本準備金の減少額 938,158,096 円は、全額その他資本剰余金に振り替える予定であります。

3. 剰余金の処分（その他資本剰余金の繰越利益剰余金への振替）の要領

(1) 減少すべき剰余金の額

その他資本剰余金 938,158,096 円

(2) 増加すべき剰余金の額

繰越利益剰余金 938,158,096 円

(3) 剰余金処分の方法

会社法第 452 条の規定に基づき、資本準備金の額の減少の効力発生を条件に、その他資本剰余金 938,158,096 円を減少して繰越利益剰余金に振替え、欠損填補に充当します。

4. 日程（予定）

- （1）取締役会決議日 平成 27 年 9 月 18 日
- （2）株主総会決議日 平成 27 年 10 月 27 日
- （3）効力発生日 平成 27 年 10 月 27 日

5. 今後の見通し

本件は、「純資産の部」における科目間の振替処理であり、純資産額には変動がなく、業績に与える影響はありません。なお、本件は平成 27 年 10 月 27 日開催予定の当社第 10 期定時株主総会において、承認可決されることを条件といたします。